

市 立 病 院 事 業 会 計 予 算 説 明 書

令和3年度富士吉田市立病院事業会計予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出
収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病 院 事 業 収 益			8,692,879	
	1 医 業 収 益		7,347,984	
		1 入 院 収 益	4,494,573	入院患者診療収益
		2 外 来 収 益	2,269,684	外来患者診療収益
		3 そ の 他 医 業 収 益	470,401	特別室料・健康診断料他
		4 他 会 計 負 担 金	113,326	救急医療費負担金他

款	項	目	予 定 額	備 考
	2 医 業 外 収 益		1, 211, 649	
		1 受 取 利 息 配 当 金	0	
		2 他 会 計 補 助 金	70, 087	研究研修費・院内保育所運営費 法定福利費追加費用 児童手当負担分 他
		3 国 県 補 助 金	300, 000	
		4 他 会 計 負 担 金	422, 888	高度医療負担金・企業債利息 電子カルテ負担金・感染症関連負担金 他
		5 長 期 前 受 金 戻 入	304, 751	減価償却に伴う長期前受金の収益化
		6 資 本 費 繰 入 収 益	59, 852	電子カルテリース債務償還に伴う繰入金の収益化
		7 雑 収 益	4, 893	電子カルテ繰入金消費税分
		8 そ の 他 医 業 外 収 益	49, 178	職員駐車場使用料・院内保育料他
	3 特 別 利 益		133, 246	
		1 過 年 度 損 益 修 正 益	1	
		2 長 期 前 受 金 戻 入	133, 245	減価償却に伴う長期前受金（過年度分）の収益化

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病 院 事 業 費 用			8,456,507	
	1 医 業 費 用		8,357,726	
		1 給 与 費	4,377,552	職員給与費・退職金引当金繰入・ 賞与引当金繰入
		2 材 料 費	1,662,001	薬品費・診療材料費他
		3 経 費	1,714,058	光熱水費・賃借料・委託料他
		4 減 価 償 却 費	568,913	
		5 資 産 減 耗 費	9,000	資産の除却・減耗費
		6 研 究 研 修 費	24,210	
		7 長 期 前 払 消 費 税 償 却	1,992	控除対象外消費税額

款	項	目	予 定 額	備 考
	2 医 業 外 費 用		97,780	
		1 支 払 利 息	77,780	企業債利子・リース利息
		2 消 費 税	15,000	
		3 地 方 消 費 税	5,000	
	3 特 別 損 失		1	
		1 過 年 度 損 益 修 正 損	1	
	4 予 備 費		1,000	
		1 予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出
収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			391,905	
	1 企 業 債		74,300	
		1 企 業 債	74,300	2階機能訓練室改修に係る起債
	2 負 担 金		190,553	
		1 他 会 計 負 担 金	190,553	企業債元金償還負担分
	3 補 助 金		127,050	
		1 国 庫 補 助 金	124,300	防衛省交付金・地域医療構想調整交付金
		2 県 補 助 金	2,750	国保調整交付金
	4 固 定 資 産 売 却 代 金		1	
		1 器 械 備 品 売 却 代 金	1	
	5 寄 附 金		1	
		1 寄 附 金	1	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			762,059	
	1 建 設 改 良 費		436,228	
		1 病 院 改 良 工 事 費	138,600	2階機能訓練室に係る工事費
		2 有 形 固 定 資 産 購 入 費	126,707	
		3 リ ー ス 債 務 償 還 金	170,920	
		4 電 話 架 設 費	1	
	2 企 業 債 償 還 金		285,831	
		1 企 業 債 元 金 償 還 金	285,831	
	3 予 備 費		40,000	
		1 予 備 費	40,000	

令和3年度予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー：

当年度純利益	10
減価償却費	568,913
長期前払消費税償却費	1,992
固定資産除却費	6,000
退職給付引当金の増減額	120,000
修繕引当金の増減額	0
長期前受金戻入額	△ 304,751
資本費繰入収益	△ 59,852
その他特別利益	△ 133,245
受取利息及び受取配当金	0
支払利息	77,780
未収金の増減額	5,300
未払金の増減額	0
貸倒引当金の増減額	50
賞与引当金の増減額	△ 4,031
法定福利費引当金の増減額	△ 3,324
貯蔵品の増減額	3,000
その他	0
小計	277,842
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△ 77,780
業務活動によるキャッシュ・フロー	200,062

2 投資活動によるキャッシュ・フロー：

有形固定資産の取得による支出	△ 293,788
有形固定資産の売却による収入	0
国庫補助金等による収入	127,050
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	190,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>23,815</u>

3 財務活動によるキャッシュ・フロー：

建設改良企業債による収入	74,300
建設改良企業債の償還による支出	△ 285,830
リース債務償還金支出	△ 156,786
資本費繰入収益	59,852
他会計からの出資による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 308,464</u>

資金増加（減少）額	△ 84,587
資金期首残高	<u>1,089,401</u>
資金期末残高	1,004,814

給 与 費 明 細 書

1 一般職

(1) 総括

(単位：千円)

区 分	職員数	給 与 費				法定福利費	合 計	備 考
		報 酬	給 料	手 当	計			
本 年 度	_()_ 人 426	0	1,546,758	1,522,428	3,069,186	581,081	3,650,267	児童手当 21,360
前 年 度	_()_ 人 425	0	1,543,439	1,518,911	3,062,350	578,553	3,640,903	児童手当 19,754
比 較	_()_ 人 1	0	3,319	3,517	6,836	2,528	9,364	1,606

手当の内 訳	区 分	初任給調整手当	扶養手当	管理職手当	通勤手当	時間外勤務手当	特殊勤務手当	夜間勤務手当	住居手当	寒冷地手当	期末勤勉手当
	本年度	223,549	30,292	7,906	15,366	288,311	326,427	28,439	16,865	20,050	565,223
	前年度	222,223	29,628	8,730	16,774	287,038	325,984	26,246	18,300	20,191	563,797
	比 較	1,326	664	△ 824	△ 1,408	1,273	443	2,193	△ 1,435	△ 141	1,426

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説 明	備 考
給 料	3,319	昇給に伴う増加分	2,664	昇給職員数 411人 平均昇給率 1.89 %	
		その他の増減分	655	新陳代謝等による増減分 職員数の異動状況 (現に在職する職員数) (採用予定) (計) 本年度 400 人 26 人 426 人 前年度 390 人 35 人 425 人 増 減 10 人 △ 9 人 1 人 採用退職(異動) の状況等 (令和2年1月1日～令和2年12月31日) 採用 49 人 退職 44 人	
職員手当	3,517	制度改正に伴う増減分	0		
		その他の増減分	3,517	新陳代謝等による増減分他	

(3) 給料及び職員手当の内訳

ア・職員1人当たり給与

区 分		医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職
令和3年1月1日現在	平均給料月額(円)	436,338	299,327	0	277,616	289,567	0
	平均給与月額(円)	1,520,857	403,253	0	374,953	358,116	0
	平均年齢(歳)	42.43	35.91	0	36.34	37.39	0
令和2年1月1日現在	平均給料月額(円)	437,382	298,889	0	278,871	286,942	0
	平均給与月額(円)	1,438,940	397,462	0	383,620	366,936	0
	平均年齢(歳)	42.73	37.06	0	37.38	38.55	0

イ・初任給

区 分	医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職	国 の 制 度					
							医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職
高 校 卒	円	円	円 176,700	円	円 150,600	円 150,600	円	円	円 176,700	円	円 150,600	円 150,600
短 大 二 卒		209,800		166,400	163,100			209,800		166,400	163,100	
短 大 三 卒		215,200		177,400				215,200		177,400		
大 学 卒		220,700		188,400	182,200			220,700		188,400	182,200	
大 学 六 卒	259,500			210,500			259,500			210,500		
博 士 課 程 修 了 者	334,100						334,100					

ウ・級別職員数

区 分	医 師 職			看 護 師 職			准 看 護 師 職		
	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比
令和3年1月1日現在	1級	$\frac{(\quad)}{16}$ 人	36.3 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %
	2級	$\frac{(\quad)}{13}$	29.5 %	2級	$\frac{(\quad)}{43}$	18.3 %	2級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	3級	$\frac{(\quad)}{9}$	20.5 %	3級	$\frac{(\quad)}{32}$	13.7 %	3級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	4級	$\frac{(\quad)}{5}$	11.4 %	4級	$\frac{(\quad)}{143}$	61.1 %	4級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	5級	$\frac{(\quad)}{1}$	2.3 %	5級	$\frac{(\quad)}{13}$	5.6 %			
				6級	$\frac{(\quad)}{3}$	1.3 %			
	計	$\frac{(\quad)}{44}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{234}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
令和2年1月1日現在	1級	$\frac{(\quad)}{16}$ 人	35.6 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %
	2級	$\frac{(\quad)}{13}$	28.9 %	2級	$\frac{(\quad)}{56}$	23.5 %	2級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	3級	$\frac{(\quad)}{11}$	24.4 %	3級	$\frac{(\quad)}{40}$	16.8 %	3級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	4級	$\frac{(\quad)}{3}$	6.7 %	4級	$\frac{(\quad)}{126}$	52.9 %	4級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	5級	$\frac{(\quad)}{2}$	4.4 %	5級	$\frac{(\quad)}{13}$	5.5 %			
				6級	$\frac{(\quad)}{3}$	1.3 %			
	計	$\frac{(\quad)}{45}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{238}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %

区 分	医 療 技 術 職			一 般 行 政 職			技 能 労 務 職		
	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比	級	職員数	構成比
令和3年1月1日現在	1級	$\frac{(\quad)}{5}$ 人	5.7 %	1級	$\frac{(\quad)}{4}$ 人	11.8 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %
	2級	$\frac{(\quad)}{29}$	33.0 %	2級	$\frac{(\quad)}{6}$	17.6 %	2級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	3級	$\frac{(\quad)}{27}$	30.6 %	3級	$\frac{(\quad)}{10}$	29.4 %	3級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	4級	$\frac{(\quad)}{24}$	27.3 %	4級	$\frac{(\quad)}{7}$	20.6 %	4級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	5級	$\frac{(\quad)}{2}$	2.3 %	5級	$\frac{(\quad)}{4}$	11.8 %			
	6級	$\frac{(\quad)}{1}$	1.1 %	6級	$\frac{(\quad)}{2}$	5.9 %			
				7級	$\frac{(\quad)}{1}$	2.9 %			
	計	$\frac{(\quad)}{88}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{34}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
令和2年1月1日現在	1級	$\frac{(\quad)}{4}$ 人	5.3 %	1級	$\frac{(\quad)}{7}$ 人	22.6 %	1級	$\frac{(\quad)}{0}$ 人	0.0 %
	2級	$\frac{(\quad)}{26}$	34.2 %	2級	$\frac{(\quad)}{2}$	6.4 %	2級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	3級	$\frac{(\quad)}{27}$	35.5 %	3級	$\frac{(\quad)}{10}$	32.3 %	3級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	4級	$\frac{(\quad)}{16}$	21.1 %	4級	$\frac{(\quad)}{7}$	22.6 %	4級	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %
	5級	$\frac{(\quad)}{2}$	2.6 %	5級	$\frac{(\quad)}{2}$	6.4 %			
	6級	$\frac{(\quad)}{1}$	1.3 %	6級	$\frac{(\quad)}{2}$	6.5 %			
				7級	$\frac{(\quad)}{1}$	3.2 %			
	計	$\frac{(\quad)}{76}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{31}$	100.0 %	計	$\frac{(\quad)}{0}$	0.0 %

(級別の基準となる職務)

区分	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級
医 師 職			院 統 括 副 院 長 院 長	副 院 長 診 療 統 括 部 長 診 療 部 長	医 科 部 長	主 任 医 長 主 医 長	医 師
看 護 師 職		副 院 長 看 護 部 長 看 護 副 部 長	看 護 師 長	看 護 副 師 長 主 査	主 任	主 事 補 主 事	主 事 補
准看護師職					主 任		主 事 補
医療技術職		統 括 科 長	科 長	主 幹	主 査	主 任	主 事 補 主 事
一般行政職	部 次 長 長	課 長	課 長 補 佐	主 幹	主 査	主 任	主 事 補 主 事
技能労務職				主 任 職 長	職 長	技 能 主 任	技 能 主 事 補 技 能 主 事

エ・昇給

区分		合計	医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職
本年度	職員数 (A) (人)	426	47	253	0	90	36	0
	昇給に係る職員数 (B) (人)	411	45	244	0	86	36	0
	号級数別内訳	1号給 (人)	2	0	0	0	0	0
		2号給 (人)	31	11	0	3	5	0
		3号給 (人)	42	5	0	14	4	0
		4号給 (人)	336	29	0	69	27	0
		5号給 (人)	0	0	0	0	0	0
		6号給 (人)	0	0	0	0	0	0
		7号給 (人)	0	0	0	0	0	0
		8号給 (人)	0	0	0	0	0	0
		9号給以上 (人)	0	0	0	0	0	0
	比率 (B) / (A) (%)	96.48	95.74	96.44	0.00	95.56	100.00	0.00
前年度	職員数 (A) (人)	425	45	256	0	91	33	0
	昇給に係る職員数 (B) (人)	412	44	248	0	87	33	0
	号級数別内訳	1号給 (人)	2	0	0	0	0	0
		2号給 (人)	28	3	0	3	4	0
		3号給 (人)	38	0	0	15	2	0
		4号給 (人)	344	41	0	69	27	0
		5号給 (人)	0	0	0	0	0	0
		6号給 (人)	0	0	0	0	0	0
		7号給 (人)	0	0	0	0	0	0
		8号給 (人)	0	0	0	0	0	0
		9号給以上 (人)	0	0	0	0	0	0
	比率 (B) / (A) (%)	96.94	97.78	96.88	0.00	95.60	100.00	0.00

オ・期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計（月分）	備 考
	6 月（月分）	1 2 月（月分）		
本 年 度	<u>（ ）</u> 2. 225	<u>（ ）</u> 2. 225	<u>（ ）</u> 4. 45	
前 年 度	<u>（ ）</u> 2. 250	<u>（ ）</u> 2. 200	<u>（ ）</u> 4. 45	
国の制度	<u>（ ）</u> 2. 225	<u>（ ）</u> 2. 225	<u>（ ）</u> 4. 45	

カ・定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 （月分）	25年勤続の者 （月分）	35年勤続の者 （月分）	最高限度 （月分）	その他の加算措置等	備 考
支給率等	24. 586875	33. 27075	47. 709	47. 709	定年前早期退職 特別措置（2％～ 20％加算）	
国の制度 （支給率等）	24. 586875	33. 27075	47. 709	47. 709	定年前早期退職 特別措置（2％～ 45％加算）	

キ・特殊勤務手当

区 分	全職種	代 表 的 な 職 種					
		医師職	看護師職	准看護師職	医療技術職	一般行政職	技能労務職
給料総額に対する比率（％）	12.6	20.9	11.2	0.0	4.0	1.4	0.0
支給対象職員の比率（％） （令和3年1月1日現在）	90.5	100.0	87.2	0.0	96.8	87.1	0.0
代表的な特殊勤務手当の名称	医師手当・宅当直手当・夜間看護手当						

ク・その他の手当

区 分	国の制度との異同
扶 養 手 当	国 と 同 じ
住 居 手 当	〃
通 勤 手 当	〃

債務負担行為に関する調書

事 項	限 度 額 (千円)	令和2年度末までの 支払義務発生（見込）額		令和3年度以降の 支払義務発生予定額		左の財源内訳
		期 間	金 額 （千円）	期 間	金 額 （千円）	事業収益 （千円）
放射線治療情報システム 機器一式賃借料	15,066	平成29年度から 令和2年度まで	12,768	令和3年度から 令和4年度まで	5,312	5,312
PBX・録音装置 機器一式賃借料	31,676	平成29年度から 令和2年度まで	11,699	令和3年度から 令和6年度まで	21,981	21,981
新医療情報システム 構築及び運営使用料	1,374,497	令和2年度	0	令和3年度から 令和10年度まで	1,499,452	1,499,452

令和2年度富士吉田市立病院事業予定損益計算書(前年度分)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

1 医業収益

(1) 入院収益	3,771,128	
(2) 外来収益	2,062,378	
(3) その他医業収益	294,889	
(4) 他会計負担金	<u>113,326</u>	6,241,721

2 医業費用

(1) 給与費	4,131,131	
(2) 材料費	1,525,186	
(3) 経費	1,382,506	
(4) 減価償却費	474,447	
(5) 資産減耗費	8,792	
(6) 研究研修費	15,429	
(7) 長期前払消費税償却	<u>6,712</u>	<u>7,544,203</u>

医業損失

1,302,482

3 医業外収益

(1) 受取利息配当金	188	
(2) 他会計補助金	70,087	
(3) 国県補助金	587,709	
(4) 他会計負担金	342,915	
(5) 長期前受金戻入益	230,113	
(6) 資本費繰入収益	59,852	
(7) 雑収益	4,893	
(8) その他医業外収益	<u>52,300</u>	1,348,057

4 医業外費用			
(1) 支払利息	66,935		
(2) 雑損失	<u>339,360</u>	<u>406,295</u>	941,762
5 予備費			
(1) 予備費		<u>0</u>	<u>0</u>
經常損失			360,720
6 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	1		
(2) 長期前受金戻入益	<u>128,714</u>	128,715	
7 特別損失			
(1) 過年度損益修正損		<u>1</u>	<u>128,714</u>
当年度純損失			232,006
前年度繰越欠損金			<u>853,029</u>
当年度未処理欠損金			<u><u>1,085,035</u></u>

令和2年度富士吉田市立病院事業予定貸借対照表（前年度分）

（令和3年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固定資産

（1）有形固定資産

イ 土地		1, 825, 654, 723	
ロ 建物	10, 477, 529, 801		
減価償却累計額	<u>6, 608, 768, 975</u>	3, 868, 760, 826	
ハ 構築物	436, 498, 987		
減価償却累計額	<u>304, 402, 845</u>	132, 096, 142	
ニ 器械備品	4, 532, 468, 893		
減価償却累計額	<u>3, 624, 102, 882</u>	908, 366, 011	
ホ 車両	20, 748, 662		
減価償却累計額	<u>18, 436, 101</u>	2, 312, 561	
ヘ リース資産	1, 096, 320, 900		
減価償却累計額	<u>921, 735, 477</u>	174, 585, 423	
ト 建設仮勘定		<u>24, 120, 000</u>	
有形固定資産合計			6, 935, 895, 686

（2）無形固定資産

イ 電話加入権		<u>2, 763, 900</u>	
無形固定資産合計			<u>2, 763, 900</u>

（3）投資その他の資産

イ 長期前払消費税		<u>31, 182, 000</u>	<u>31, 182, 000</u>
-----------	--	---------------------	---------------------

固定資産合計

6, 969, 841, 586

2 流動資産

(1) 現金預金		1, 089, 401, 438	
(2) 未収金			
イ 医業未収金	1, 105, 300, 000		
ロ 医業外未収金	<u>11, 200, 000</u>		
未収金合計		1, 116, 500, 000	
(3) 貸倒引当金		△12, 755, 880	
(4) 貯蔵品			
イ 薬品	88, 339, 902		
ロ 診療材料	48, 056, 095		
ハ 給食材料	0		
ニ 燃料	0		
ホ その他貯蔵品	<u>3, 874, 846</u>		
貯蔵品合計		<u>140, 270, 843</u>	
流動資産合計			2, 333, 416, 401
資産合計			<u><u>9, 303, 257, 987</u></u>

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源
に充てるための企業債
企業債合計

3, 039, 593, 297

3, 039, 593, 297

(2) リース債務

46, 480, 663

(3) 引当金

イ 退職給付引当金
引当金合計
固定負債合計

1, 023, 600, 780

1, 023, 600, 780

4, 109, 674, 740

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源
に充てるための企業債
企業債合計

285, 830, 204

285, 830, 204

(2) リース債務

79, 529, 065

(3) 未払金

イ 医業未払金
ロ 医業外未払金
未払金合計

400, 000, 000

20, 000, 000

420, 000, 000

(4) 前受金			
イ 医業前受金	12,000,000		
ロ 医業外前受金	<u>0</u>		
前受金合計		12,000,000	
(5) 引当金			
イ 退職給付引当金	0		
ロ 賞与引当金	187,932,448		
ハ 法定福利費引当金	37,146,474		
ニ 修繕引当金	<u>7,822,041</u>		
引当金合計		<u>232,900,963</u>	
流動負債合計			<u>1,030,260,232</u>
5 繰延収益			
(1) 長期前受金	9,769,798,665		
長期前受金収益化累計額	<u>7,718,564,543</u>	2,051,234,122	
繰延収益合計			<u>2,051,234,122</u>
負債合計			7,191,169,094

資 本 の 部

6 資本金

(1) 資本金

イ 固有資本金	30,437,195	
ロ 出資金	2,423,510,425	
ハ 組入資本金	<u>694,324,227</u>	
資本金合計		3,148,271,847

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 再評価積立金	0	
ロ 補助金	0	
ハ 受贈財産評価額	0	
ニ 寄附金	0	
ホ その他資本剰余金	<u>0</u>	
資本剰余金合計		0

(2) 利益剰余金

イ 減債積立金	44,984,125	
ロ 利益積立金	0	
ハ その他積立金	0	
ニ 当年度未処理欠損金	<u>1,081,167,079</u>	
欠損金合計		1,036,182,954
資本合計		<u>2,112,088,893</u>

負債・資本合計 9,303,257,987

令和3年度富士吉田市立病院事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和4年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		1, 825, 654, 723	
ロ 建物	10, 603, 529, 801		
減価償却累計額	<u>6, 775, 362, 975</u>	3, 828, 166, 826	
ハ 構築物	436, 498, 987		
減価償却累計額	<u>312, 502, 845</u>	123, 996, 142	
ニ 器械備品	4, 681, 657, 075		
減価償却累計額	<u>3, 863, 775, 882</u>	817, 881, 193	
ホ 車両	20, 748, 662		
減価償却累計額	<u>19, 418, 101</u>	1, 330, 561	
ヘ リース資産	1, 888, 409, 010		
減価償却累計額	<u>1, 075, 299, 477</u>	813, 109, 533	
ト 建設仮勘定		<u>24, 120, 000</u>	
有形固定資産合計			7, 434, 258, 978

(2) 無形固定資産

イ 電話加入権		<u>2, 763, 900</u>	
無形固定資産合計			<u>2, 763, 900</u>

(3) 投資その他の資産

イ 長期前払消費税		<u>41, 790, 150</u>	<u>41, 790, 150</u>
-----------	--	---------------------	---------------------

固定資産合計

7, 478, 813, 028

2 流動資産

(1) 現金預金		1, 004, 814, 188	
(2) 未収金			
イ 医業未収金	1, 100, 000, 000		
ロ 医業外未収金	<u>11, 200, 000</u>		
未収金合計		1, 111, 200, 000	
(3) 貸倒引当金		△12, 805, 880	
(4) 貯蔵品			
イ 薬品	85, 339, 902		
ロ 診療材料	48, 056, 095		
ハ 給食材料	0		
ニ 燃料	0		
ホ その他貯蔵品	<u>3, 874, 846</u>		
貯蔵品合計		<u>137, 270, 843</u>	
流動資産合計			2, 240, 479, 151
資産合計			<u>9, 719, 292, 179</u>

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源
に充てるための企業債
企業債合計

2, 822, 576, 459

2, 822, 576, 459

(2) リース債務

638, 461, 378

(3) 引当金

イ 退職給付引当金
引当金合計
固定負債合計

1, 143, 600, 780

1, 143, 600, 780

4, 604, 638, 617

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源
に充てるための企業債
企業債合計

291, 316, 838

291, 316, 838

(2) リース債務

122, 850, 411

(3) 未払金

イ 医業未払金
ロ 医業外未払金
未払金合計

400, 000, 000

20, 000, 000

420, 000, 000

(4) 前受金			
イ	医業前受金	12,000,000	
ロ	医業外前受金	<u>0</u>	
	前受金合計		12,000,000
(5) 引当金			
イ	退職給付引当金	0	
ロ	賞与引当金	183,901,565	
ハ	法定福利費引当金	33,821,781	
ニ	修繕引当金	<u>7,822,041</u>	
	引当金合計		<u>225,545,387</u>
	流動負債合計		<u>1,071,712,636</u>
5 繰延収益			
(1)	長期前受金	10,087,401,665	
	長期前受金収益化累計額	<u>8,156,559,632</u>	1,930,842,033
	繰延収益合計		<u>1,930,842,033</u>
	負債合計		7,607,193,286

資 本 の 部

6 資本金

(1) 資本金

イ 固有資本金	30,437,195	
ロ 出資金	2,423,510,425	
ハ 組入資本金	<u>694,324,227</u>	
資本金合計		3,148,271,847

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 再評価積立金	0	
ロ 補助金	0	
ハ 受贈財産評価額	0	
ニ 寄附金	0	
ホ その他資本剰余金	<u>0</u>	
資本剰余金合計		0

(2) 利益剰余金

イ 減債積立金	44,984,125	
ロ 利益積立金	0	
ハ その他積立金	0	
ニ 当年度未処理欠損金	<u>1,081,157,079</u>	
欠損金合計		1,036,172,954
資本合計		<u>2,112,098,893</u>

負債・資本合計 9,719,292,179

注記事項

I 重要な会計方針

平成２６年度より、地方公営企業法施行令等の一部を改正する政令（平成２４年政令第２０号）及び地方公営企業法施行規則等の一部を改正する省令（平成２４年総務省令第６号）によって、改正後の地方公営企業法施行令（昭和２７年政令第４０３号）及び地方公営企業法施行規則（昭和２７年総理府令第７３号）に基づく地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

１ 資産の評価基準及び評価方法（減損会計に係るものを除く。）

（１） たな卸資産の評価基準及び評価方法

イ 薬品	先入先出法に基づく原価法
ロ 診療材料	同上
ハ 給食材料	同上
ニ 燃料	同上
ホ その他貯蔵品	同上

２ 固定資産の減価償却の方法

（１） 有形固定資産（リース資産を除く。）

イ 減価償却の方法	定額法
ロ 主な耐用年数	
建物	６～３９年
構築物	８～５０年
器械備品	２～２０年
車両	４～６年

(2) リース資産

イ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

ロ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率（回収不能率）により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

4 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等は、当年度の費用として処理している。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、20年間で均等償却を行っている。

Ⅱ 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

重要な非資金取引

令和3年度、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ772,088,110円である。

Ⅲ 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

令和2年度予定貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は2,160,618,000円である。

令和3年度予定貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は1,970,064,531円である。

2 引当金の取崩し

（1）退職給付引当金の取崩し

令和2年度において、退職手当として160,790,437円を支給するため、退職給付引当金160,790,437円を取り崩す。

令和3年度において、退職手当として201,135,000円を支給するため、退職給付引当金201,135,000円を取り崩す。

（2）賞与引当金の取崩し

令和2年度において、期末手当及び勤勉手当として281,898,672円を支給するため、賞与引当金181,612,652円を取り崩す。

令和3年度において、期末手当及び勤勉手当として275,852,348円を支給するため、賞与引当金183,901,565円を取り崩す。

（3）法定福利費引当金の取崩し

令和2年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として55,719,710円を支出するため、法定福利費引当金36,125,218円を取り崩す。

令和3年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として50,732,671円を支出するため、法定福利費引当金33,821,781円を取り崩す。

IV リース契約により使用する固定資産

1 ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。なお、リース期間が1年以内の所有権移転ファイナンス・リース取引及びリース料総額が300万円以下又はリース期間が1年以内の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

令和2年度

貸借対照表日後1年以内のリース期間に係る未経過リース料	69,804,450円
貸借対照表日後1年を超えるリース期間に係る未経過リース料	27,984,200円

令和3年度

貸借対照表日後1年以内のリース期間に係る未経過リース料	137,109,072円
貸借対照表日後1年を超えるリース期間に係る未経過リース料	691,706,968円

V 重要な後発事象

該当なし。

VI その他の注記

新会計基準移行に係る経過措置

(1) 退職給付引当金に関する経過措置

会計基準変更時差異（1,165,605,000円）については、平成26年度から職員の退職までの平均残余勤務年数（15年）にわたり、均等額を費用処理している。

(2) 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

(3) リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

水道事業会計予算説明書

令和3年度富士吉田市水道事業会計予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業収益			764,401	
	1 営業収益		593,319	
		1 給水収益	563,902	
		2 その他営業収益	29,417	
	2 営業外収益		171,081	
		1 受取利息	10	
		2 長期前受金戻入	171,002	
		3 雑収益	69	
	3 特別利益		1	
		1 固定資産売却益	1	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業費用			719,907	
	1 営業費用		663,897	
		1 原水及び浄水費	111,921	原水の取り入れ及び浄水に要する費用
		2 配水及び給水費	56,495	配水及び給水施設等の維持管理及び作業に要する費用
		3 受託工事費	9,441	受託工事に要する費用
		4 総 係 費	79,440	料金調定集金その他事務及び事業活動全般に要する費用
		5 減 価 償 却 費	396,000	固定資産の減価償却費
		6 資 産 減 耗 費	10,150	資産の除却・減耗に要する費用
		7 その他営業費用	450	上記以外の営業費用

	2 営 業 外 費 用		55,009	
		1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	49,130	企業債利子及び取扱手数料
		2 消 費 税	2,968	
		3 雑 支 出	2,911	営業外の雑支出
	3 特 別 損 失		1	
		1 固 定 資 産 売 却 損	1	
	4 予 備 費		1,000	
		1 予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			696,664	
	1 企 業 債		316,000	
		1 企 業 債	316,000	
	2 負 担 金		167,417	
		1 工 事 負 担 金	167,417	
	3 補 助 金		204,396	
		1 国 庫 補 助 金	204,396	
	4 出 資 金		8,850	
		1 出 資 金	8,850	簡易水道統合による企業債元金償還の出資金
	5 固定資産売却代金		1	
		1 固定資産売却代金	1	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			1,000,469	
	1 建 設 改 良 費		818,824	
		1 施 設 整 備 及 び 改 良 費	817,945	原水配水設備の拡張及び改良工事等に要する費用
		2 営 業 設 備 費	879	量水器購入等に要する費用
	2 企 業 債 償 還 金		176,645	
		1 企 業 債 償 還 金	176,645	企業債の元金償還金
	3 予 備 費		5,000	
		1 予 備 費	5,000	

令和３年度富士吉田市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和３年４月１日から令和４年３月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	11,729
	減価償却費	396,000
	固定資産除却費	10,000
	引当金の増減額（△は減少）	△ 6,518
	長期前受金戻入額	△ 168,003
	受取利息	△ 10
	支払利息	49,128
	未収金の増減額（△は増加）	292,162
	貯蔵品の増減額（△は増加）	△ 237
	未払金の増減額（△は減少）	△ 68,056
	その他流動負債の増減額（△は減少）	0
	小計	516,195
	利息の受取額	10
	利息の支払額	△ 49,128
	業務活動によるキャッシュ・フロー	467,077
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	固定資産の取得による支出	△ 754,129
	工事負担金による収入	141,834
	国庫補助金による収入	185,815
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 426,480
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	316,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 176,644
	他会計からの出資による収入	8,850
	財務活動によるキャッシュ・フロー	148,206
	資金増加額（又は減少額）	188,803
	資金期首残高	85,346
	資金期末残高	274,149

給 与 費 明 細 書

1 総 括

単位：千円

区分	職員数 人	給 与 費				法定福利費	合 計
		報 酬	給 料	手 当 等	計		
本年度	11	0	46,385	37,009	83,394	15,466	98,860
前年度	11	0	47,923	38,217	86,140	17,334	103,474
比較	0	0	△ 1,538	△ 1,208	△ 2,746	△ 1,868	△ 4,614

単位：千円

手当等の内訳	区分	扶養手当	管理職手当	通勤手当	時間外勤務手当	住居手当	期末勤勉手当	休日勤務手当	寒冷地手当	退職手当	児童手当
	本年度	2,064	748	433	3,468	930	19,153	193	835	8,345	840
	前年度	2,604	748	168	2,216	1,320	24,119	193	772	5,237	840
	比較	△ 540	0	265	1,252	△ 390	△ 4,966	0	63	3,108	0

2 給料及び職員手当の増減額の明細

区 分	増減額	増 減 事 由 別 内 訳		説 明	備 考
給 料	千円 △ 1,538	1 昇給に伴う増減分	千円 122	平均昇給率 1.49% 昇給職員数 11人(うち増額となった職員数 11人)	
		2 その他の増減分	新陳代謝等による増減分 △ 1,660	新陳代謝等 職員数の異動状況 (現に在職する職員数) (その他) (計) 本年度 11 人 0 人 11 人 前年度 11 人 0 人 11 人 増 減 0 人 0 人 0 人	
職員手当	△ 1,208	1 その他の増減分	△ 1,208	新陳代謝等	

3 給料及び職員手当の状況

(1) 職員1人当たりの給与

区 分		事 務 技 術 職	技 能 労 務 職
令和3年1月1日現在	平 均 給 料 月 額 (円)	299,078	－
	平 均 給 与 月 額 (円)	364,436	－
	平 均 年 齢 (歳)	41.89	－
令和2年1月1日現在	平 均 給 料 月 額 (円)	338,750	361,200
	平 均 給 与 月 額 (円)	389,566	409,660
	平 均 年 齢 (歳)	45.71	59.00

(2) 初 任 給

区 分	事 務 技 術 職 (円)	技 能 労 務 職 (円)	一 般 会 計 の 制 度	
			一 般 行 政 職 (円)	技 能 労 務 職 (円)
高 校 卒	150,600	150,600	150,600	150,600
大 学 卒	182,200		182,200	

(3) 級 別 職 員 数

区 分	事 務 技 術 職			技 能 労 務 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
令和3年1月1日現在	7 級		0.0	7 級		0.0
	6 級	1	11.1	6 級		0.0
	5 級	1	11.1	5 級		0.0
	4 級	2	22.2	4 級		0.0
	3 級	4	44.4	3 級		0.0
	2 級		0.0	2 級		0.0
	1 級	1	11.1	1 級		0.0
	計	9	100.0	計		0.0
令和2年1月1日現在	7 級		0.0	7 級		0.0
	6 級	1	14.3	6 級		0.0
	5 級	2	28.6	5 級		0.0
	4 級	1	14.3	4 級	1	100.0
	3 級	2	28.6	3 級		0.0
	2 級	1	14.3	2 級		0.0
	1 級		0.0	1 級		0.0
	計	7	100.0	計	1	100.0

(級別の基準となる職務)

区 分	7 級	6 級	5 級	4 級	3 級	2 級	1 級
事務技術職	部 次 長 長	課 長	課長補佐	主 幹	主 査	主 任	主 事 補
技能労務職				主任職長	職 長		

(4) 昇 給

区 分			合 計	事務技術職	技能労務職
本 年 度	職 員 数 (A) (人)		11	11	0
	昇給に係る職員数 (B) (人)		11	11	0
	号給数別内訳	2 号 給 (人)	2	2	0
		4 号 給 (人)	9	9	0
	比 率 (B)／(A) (%)		100.00	100.00	0.00
前 年 度	職 員 数 (A) (人)		11	11	0
	昇給に係る職員数 (B) (人)		11	11	0
	号給数別内訳	2 号 給 (人)	2	2	0
		4 号 給 (人)	9	9	0
	比 率 (B)／(A) (%)		100.00	100.00	0.00

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計 (月分)	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)		
本 年 度	2. 225	2. 225	4. 450	
前 年 度	2. 250	2. 250	4. 500	
一般会計の制度	2. 225	2. 225	4. 450	

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最 高 限 度 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	備 考
支 給 率 等	24. 586875	33. 27075	47. 709	47. 709	定年前早期退職特例 措置 (2～20%加算)	
一般会計の制度 (支給率等)	24. 586875	33. 27075	47. 709	47. 709	定年前早期退職特例 措置 (2～20%加算)	

(7) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	
扶 養 手 当	同	じ
住 居 手 当	同	じ
通 勤 手 当	同	じ

継続費に関する調書

款	項	事業名	全 体 計 画						前前年度 末までの 支払義務 発生額	前年度末 までの支 払義務発 生(見込) 額	当該年度 支払義務 発生予定 額	当該年度 末までの 支払義務 発生予定 額	翌年度以 降の支払 義務発生 予定額	継続費の 総額に対 する進捗 率	備考
			年度	年割額	左 の 財 源 内 訳										
					企業債	国 庫 補助金	その他	損益勘定 留保資金							
1 資本 的支出	1 建設 改良費	新屋第 2 配水 場整備 事業	3	千円 306,900	千円 118,600	千円 70,010	千円 76,725	千円 41,565	千円 -	千円 -	千円 306,900	千円 306,900	千円 -	% 39.9	
			4	463,210	24,200	315,045	115,790	8,175	-	-	-	-	463,210	-	
			計	770,110	142,800	385,055	192,515	49,740	-	-	306,900	306,900	463,210	39.9	

令和2年度富士吉田市水道事業予定損益計算書（前年度分）

（令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで）

（単位：千円）

1	営	業	収	益			
	(1)	給	水	収	益	518,944	
	(2)	そ	の	他	営	業	収
					益	27,206	546,150
2	営	業	費	用			
	(1)	原	水	及	び	浄	水
						費	84,715
	(2)	配	水	及	び	給	水
						費	50,383
	(3)	受	託	工	事	費	8,373
	(4)	総		係		費	56,149
	(5)	減	価	償	却	費	367,765
	(6)	資	産	減	耗	費	10,150
	(7)	そ	の	他	営	業	費
						0	577,535
		営	業	損	失		31,385

3 営業外収益

(1) 受取利息	6	
(2) 他会計補助金	0	
(3) 長期前受金戻入	150,826	
(4) 雑収益	92	150,924

4 営業外費用

(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	50,320		
(2) 雑支出	2,940	53,260	97,664

5 予備費

(1) 予備費	0	0	0
経常利益			66,279

6 特別利益

(1) 固定資産売却益	0	0

7 特別損失

(1) 固定資産売却損	0	0	0
当年度純利益			66,279
前年度繰越利益剰余金			743
当年度未処分利益剰余金			67,022

令和2年度富士吉田市水道事業予定貸借対照表（前年度分）

（令和3年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		451,613,318	
ロ 建 物	309,826,870		
減 価 償 却 累 計 額	△ 105,823,651	204,003,219	
ハ 構 築 物	13,422,778,008		
減 価 償 却 累 計 額	△ 5,629,206,795	7,793,571,213	
ニ 機 械 及 び 装 置	2,213,325,027		
減 価 償 却 累 計 額	△ 1,258,255,161	955,069,866	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	8,125,838		
減 価 償 却 累 計 額	△ 7,719,545	406,293	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	11,080,009		
減 価 償 却 累 計 額	△ 10,116,334	963,675	
ト 建 設 仮 勘 定		27,793,000	
有 形 固 定 資 産 合 計			9,433,420,584

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 電 話 加 入 権		89,300	
無 形 固 定 資 産 合 計			89,300
固 定 資 産 合 計			9,433,509,884

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

85,345,776

(2) 未 収 金

682,554,882

貸 倒 引 当 金

△ 10,454,873

672,100,009

(3) 貯 蔵 品

6,734,628

流 動 資 産 合 計

764,180,413

資 産 合 計

10,197,690,297

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

3,029,456,929

(2) 引 当 金

イ 退 職 給 付 引 当 金

116,099,705

ロ 修 繕 引 当 金

70,829,746

引 当 金 合 計

186,929,451

固 定 負 債 合 計

3,216,386,380

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

176,644,595

(2) 未 払 金

68,055,753

(3) 引 当 金

イ 賞 与 引 当 金

4,011,000

ロ 法 定 福 利 費 引 当 金

803,000

引 当 金 合 計

4,814,000

流 動 負 債 合 計

249,514,348

5 繰 延 収 益		
(1) 長 期 前 受 金	6,967,056,863	
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 2,720,880,972	
繰 延 収 益 合 計		4,246,175,891
負 債 合 計		7,712,076,619

資 本 の 部

6 資 本 金		
(1) 資 本 金		
イ 固 有 資 本 金	288,893,474	
ロ 組 入 資 本 金	1,349,887,100	
ハ 繰 入 資 本 金	274,286,452	
資 本 金		1,913,067,026
資 本 金 合 計		1,913,067,026
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
イ 受 贈 財 産 評 価 額	58,533,067	
ロ 工 事 負 担 金	25,670,172	
ハ 補 助 金	71,120,740	
資 本 剰 余 金 合 計	155,323,979	

(2) 利 益 剩 余 金

イ 減 債 積 立 金

40,700,000

ロ 建 設 改 良 積 立 金

309,500,000

ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剩 余 金

67,022,673

利 益 剩 余 金 合 計

417,222,673

剩 余 金 合 計

572,546,652

資 本 合 計

2,485,613,678

負 債 資 本 合 計

10,197,690,297

令和3年度富士吉田市水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和4年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		451,613,318	
ロ 建 物	309,826,870		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 112,027,874</u>	197,798,996	
ハ 構 築 物	13,782,628,040		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 5,928,902,136</u>	7,853,725,904	
ニ 機 械 及 び 装 置	2,282,809,328		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 1,348,284,263</u>	934,525,065	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	8,125,838		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 7,719,545</u>	406,293	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	11,080,009		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 10,187,668</u>	892,341	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>342,587,489</u>	
有 形 固 定 資 産 合 計			<u>9,781,549,406</u>

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 電 話 加 入 権		<u>89,300</u>	
無 形 固 定 資 産 合 計			<u>89,300</u>
固 定 資 産 合 計			<u>9,781,638,706</u>

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

274, 148, 529

(2) 未 収 金

390, 392, 570

貸 倒 引 当 金

△ 12, 044, 873

378, 347, 697

(3) 貯 蔵 品

6, 971, 992

流 動 資 産 合 計

659, 468, 218

資 産 合 計

10, 441, 106, 924

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

3, 172, 328, 852

(2) 引 当 金

イ 退 職 給 付 引 当 金

108, 211, 652

ロ 修 繕 引 当 金

70, 829, 746

引 当 金 合 計

179, 041, 398

固 定 負 債 合 計

3, 351, 370, 250

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

173, 128, 077

(2) 未 払 金

0

(3) 引 当 金

イ 賞 与 引 当 金

3, 848, 000

ロ 法 定 福 利 費 引 当 金

746, 000

引 当 金 合 計

4, 594, 000

流 動 負 債 合 計

177, 722, 077

5 繰 延 収 益		
(1) 長 期 前 受 金	7, 294, 705, 366	
(2) 長期前受金収益化累計額	<u>△ 2, 888, 883, 573</u>	
繰 延 収 益 合 計		<u>4, 405, 821, 793</u>
負 債 合 計		<u><u>7, 934, 914, 120</u></u>

資 本 の 部

6 資 本 金		
(1) 資 本 金		
イ 固 有 資 本 金	288, 893, 474	
ロ 組 入 資 本 金	1, 349, 887, 100	
ハ 繰 入 資 本 金	<u>283, 136, 860</u>	
資 本 金		<u>1, 921, 917, 434</u>
資 本 金 合 計		1, 921, 917, 434
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
イ 受 贈 財 産 評 価 額	58, 533, 067	
ロ 工 事 負 担 金	25, 670, 172	
ハ 補 助 金	<u>71, 120, 740</u>	
資 本 剰 余 金 合 計		155, 323, 979

(2) 利 益 剩 余 金

イ 減 債 積 立 金

40,700,000

ロ 建 設 改 良 積 立 金

209,500,000

ハ 当年度未処分利益剰余金

178,751,391

利 益 剰 余 金 合 計

428,951,391

剰 余 金 合 計

584,275,370

資 本 合 計

2,506,192,804

負 債 資 本 合 計

10,441,106,924

注記事項

I 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法（減損会計に係るものを除く。）

たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品	先入先出法による原価法
-----	-------------

2 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く。）

イ 減価償却の方法	定額法
-----------	-----

ロ 主な耐用年数	
----------	--

建物	7～65年
----	-------

構築物	30～60年
-----	--------

機械及び装置	8～30年
--------	-------

車両運搬具	4～5年
-------	------

工具、器具及び備品	2～10年
-----------	-------

3 引当金の計上方法

（1）退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

なお、一般会計が負担すると見込まれる金額を除き、水道事業会計が負担すると見込まれる金額を計上している。

（2）賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

4 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

Ⅱ 予定貸借対照表等関連

引当金の取り崩し

(1) 退職給付引当金

令和3年度において、退職手当の要支給額は退職給付引当金を使用する。

(2) 貸倒引当金

令和3年度において、不納欠損による損失に充てるため貸倒引当金を使用する。

(3) 賞与引当金

令和3年度において、期末・勤勉手当として支給するため賞与引当金を使用する。

(4) 法定福利費引当金

令和3年度において、期末・勤勉手当に係る法定福利費を支出するため法定福利費引当金を使用する。

Ⅲ その他の注記

新会計基準移行に係る経過措置

修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

下 水 道 事 業 会 計 予 算 説 明 書

令和3年度富士吉田市下水道事業会計予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下 水 道 事 業 収 益	1 営 業 収 益		890,829	
			248,537	
		1 下 水 道 使 用 料	248,100	
		2 そ の 他 の 営 業 収 益	437	排水設備工事の検査手数料等
	2 営 業 外 収 益		642,291	
		1 受 取 利 息 及 び 配 当 金	1	普通預金利息
		2 他 会 計 負 担 金	480,720	一般会計からの負担金
		3 長 期 前 受 金 戻 入	138,729	
		4 雑 収 益	22,841	消費税及び地方消費税還付金
	3 特 別 利 益		1	
		1 固 定 資 産 売 却 益	1	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下 水 道 事 業 費 用			870,578	
	1 営 業 費 用		789,196	
		1 管 渠 費	21,152	管渠の維持管理に要する費用
		2 総 係 費	15,458	事業活動の全般に関連する費用
		3 業 務 費	14,771	下水道使用料徴収事務に要する費用
		4 普 及 促 進 費	2,050	水洗化普及促進対策等に要する費用
		5 流域下水道維持管理費 負担金	246,068	流域下水道の維持管理に要する負担金
		6 減 価 償 却 費	489,697	固定資産の減価償却費

	2 営 業 外 費 用		77,381	
		1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	73,000	企業債利子
		2 雑 支 出	4,381	
	3 特 別 損 失		1	
		1 固 定 資 産 売 却 損	1	
	4 予 備 費		4,000	
		1 予 備 費	4,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			576,669	
	1 企 業 債		286,900	
		1 公 共 下 水 道 事 業 債	176,700	
		2 流 域 下 水 道 事 業 債	75,200	
		3 特 別 措 置 分	35,000	
	2 補 助 金		151,500	
		1 国 庫 補 助 金	151,500	
	3 負 担 金 等		138,269	
		1 他 会 計 負 担 金	127,269	一般会計からの負担金
		2 そ の 他 負 担 金	11,000	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			933,585	
	1 建 設 改 良 費		487,585	
		1 建 設 改 良 費	402,497	管渠の布設工事等に要する費用
		2 負 担 金	85,088	流域下水道建設負担金
	2 企 業 債 償 還 金		446,000	
		1 企 業 債 償 還 金	446,000	企業債の元金償還金

令和3年度富士吉田市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	10
減価償却費	489,697
引当金の増減額（△は減少）	6,104
長期前受金戻入額	△ 138,729
受取利息	△ 1
支払利息	73,000
未収金の増減額（△は増加）	35,904
未払金の増減額（△は減少）	△ 17,069
小計	448,916
利息の受取額	1
利息の支払額	△ 73,000
業務活動によるキャッシュ・フロー	375,917

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 367,482
無形固定資産の取得による支出	△ 77,352
国庫補助金等による収入	141,775
他会計からの負担金による収入	119,100
その他負担金による収入	10,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 173,665</u>

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	286,900
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△ 446,000</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 159,100</u>

資金増加額（又は減少額）	43,152
資金期首残高	<u>35,993</u>
資金期末残高	<u><u>79,145</u></u>

給 与 費 明 細 書

1 総 括

単位：千円

区 分	職員数 (人)	給 与 費				法定福利費	合 計
		報 酬	給 料	手 当 等	計		
本 年 度	4	0	17,342	14,866	32,208	5,787	37,995
前 年 度	4	0	17,072	17,263	34,335	6,621	40,956
比 較	0	0	270	△ 2,397	△ 2,127	△ 834	△ 2,961

単位：千円

手当等の 内 訳	区 分	扶養手当	管理職手当	通勤手当	時間外勤務手当	期末勤勉手当	寒冷地手当	退職手当	児童手当
	本 年 度	618	748	161	3,816	7,433	214	1,756	120
	前 年 度	774	748	161	3,607	9,878	252	1,703	140
	比 較	△ 156	0	0	209	△ 2,445	△ 38	53	△ 20

2 給料及び職員手当の増減額の明細

区 分	増 減 額	増 減 事 由 別 内 訳		説 明	備 考
給 料	千円 270	1 昇給に伴う増減分	千円 39	平均昇給率 0.89% 昇給職員数 4人 (うち増額となった職員数 4人)	
		2 その他の増減分	新陳代謝等による 増減分 231	新陳代謝等 職員数の異動状況 (現に在職する職員数) (その他) (計) 本年度 4人 0人 4人 前年度 4人 0人 4人 増 減 0人 0人 0人	
職員手当	△ 2,397	1 その他の増減分	△ 2,397	新陳代謝等	

3 給料及び職員手当の状況

(1) 職員1人当たりの給与

区	分	事務技術職
令和3年1月1日現在	平均給料月額(円)	355,775
	平均給与月額(円)	424,386
	平均年齢(歳)	46.75
令和2年1月1日現在	平均給料月額(円)	
	平均給与月額(円)	
	平均年齢(歳)	

※ 令和2年1月1日については公営企業会計移行前であり、対象者がいないため未記入

(2) 初任給

区分	事務技術職 (円)	一般会計の制度
		一般行政職(円)
高校卒	150,600	150,600
大学卒	182,200	182,200

(3) 級 別 職 員 数

区 分	事 務 技 術 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)
令和3年1月1日現在	7 級		0.0
	6 級	1	25.0
	5 級	1	25.0
	4 級	1	25.0
	3 級	1	25.0
	2 級		0.0
	1 級		0.0
	計	4	100.0
令和2年1月1日現在	7 級		
	6 級		
	5 級		
	4 級		
	3 級		
	2 級		
	1 級		
	計		

※ 令和2年1月1日については公営企業会計移行前であり、対象者がいないため未記入

(級別の基準となる職務)

区 分	7 級	6 級	5 級	4 級	3 級	2 級	1 級
事 務 技 術 職	部 次 長 課	長 課	長 補 佐	主 幹	主 査	主 任	主 事 主 事 補

(4) 昇 給

区 分			合 計	事務技術職
本 年 度	職 員 数 (A) (人)		4	4
	昇給に係る職員数 (B) (人)		4	4
	号 給 数 別 内 訳	1号給 (人)	1	1
		4号給 (人)	3	3
	比 率 (B) / (A) (%)		100.00	100.00
前 年 度	職 員 数 (A) (人)		4	4
	昇給に係る職員数 (B) (人)		4	4
	号 給 数 別 内 訳	1号給 (人)	0	0
		4号給 (人)	4	4
	比 率 (B) / (A) (%)		100.00	100.00

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計 (月分)	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)		
本 年 度	2.225	2.225	4.450	
前 年 度	2.250	2.250	4.500	
一般会計の制度	2.225	2.225	4.450	

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20 年 勤 続 の 者 (月分)	25 年 勤 続 の 者 (月分)	35 年 勤 続 の 者 (月分)	最 高 限 度 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	備 考
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例 措置 (2～20%加算)	
一般会計の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例 措置 (2～20%加算)	

(7) その他の手当

区 分	一 般 会 計 の 制 度 と の 異 同
扶 養 手 当	同 じ
住 居 手 当	同 じ
通 勤 手 当	同 じ

令和2年度富士吉田市下水道事業予定損益計算書（前年度分）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：千円）

1 営業収益			
(1) 下水道使用料	223,114		
(2) その他の営業収益	367	223,481	
2 営業費用			
(1) 管渠費	16,466		
(2) 総係費	17,429		
(3) 業務費	13,944		
(4) 普及促進費	1,841		
(5) 流域下水道維持管理費負担金	176,754		
(6) 減価償却費	482,870	709,304	
営業損失			485,823
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	1		
(2) 他会計負担金	464,767		
(3) 長期前受金戻入	135,578		
(4) 雑収益	0	600,346	

4 営 業 外 費 用

(1) 支払利息及び企業債取扱諸費

80,587

(2) 雑 支 出

3,196

83,783

516,563

5 予 備 費

(1) 予 備 費

0

0

0

経 常 利 益

30,740

6 特 別 利 益

(1) そ の 他 特 別 収 益

144

144

7 特 別 損 失

(1) そ の 他 特 別 損 失

3,600

3,600

△ 3,456

当 年 度 純 利 益

27,284

前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金

0

当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金

27,284

令和2年度富士吉田市下水道事業予定貸借対照表（前年度分）

（令和3年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		5,331,480	
ロ 構 築 物	11,900,050,709		
減 価 償 却 累 計 額	△ 395,275,004	11,504,775,705	
ハ 機 械 及 び 装 置	43,232,848		
減 価 償 却 累 計 額	△ 4,069,799	39,163,049	
ニ 車 両 運 搬 具	51,941		
減 価 償 却 累 計 額	0	51,941	
ホ 建 設 仮 勘 定		10,641,622	
有 形 固 定 資 産 合 計			11,559,963,797

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 施 設 利 用 権		2,187,670,280	
無 形 固 定 資 産 合 計			2,187,670,280

(3) 投 資 そ の 他 資 産

イ 出 資 金		1,000,000	
投 資 そ の 他 資 産 合 計			1,000,000
固 定 資 産 合 計			13,748,634,077

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金			35,993,910
(2) 未 収 金		90,200,429	
未 収 貸 倒 引 当 金		△ 3,345,280	86,855,149

(3) 前 払 金
流 動 資 産 合 計
資 産 合 計

300,000

123,149,059

13,871,783,136

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

4,402,457,959

(2) 引 当 金

イ 退職給付引当金

1,701,111

引 当 金 合 計

1,701,111

固 定 負 債 合 計

4,404,159,070

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

446,000,000

(2) 未 払 金

33,039,367

(3) 引 当 金

イ 賞 与 引 当 金

2,964,381

引 当 金 合 計

2,964,381

(4) そ の 他 流 動 負 債

350,000

流 動 負 債 合 計

482,353,748

5 繰 延 収 益		
(1) 長 期 前 受 金	4,537,754,589	
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 135,578,345	
繰 延 収 益 合 計		4,402,176,244
負 債 合 計		9,288,689,062

資 本 の 部

6 資 本 金		
(1) 資 本 金		
イ 固 有 資 本 金	4,555,809,663	
資 本 金 合 計		4,555,809,663
7 剰 余 金		
(1) 利 益 剰 余 金		
イ 建 設 改 良 積 立 金	0	
ロ 減 債 積 立 金	0	
ハ 利 益 積 立 金	0	
ニ 当年度未処分利益剰余金	27,284,411	
利 益 剰 余 金 合 計	27,284,411	
剰 余 金 合 計		27,284,411
資 本 合 計		4,583,094,074
負 債 資 本 合 計		13,871,783,136

令和３年度富士吉田市下水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和４年３月31日）

（単位：円）

資 産 の 部			
1	固 定 資 産		
	(1) 有 形 固 定 資 産		
	イ 土 地	5,331,480	
	ロ 構 築 物	12,265,468,764	
	減 価 償 却 累 計 額	△ 796,135,784	11,469,332,980
	ハ 機 械 及 び 装 置	43,232,848	
	減 価 償 却 累 計 額	△ 8,139,598	35,093,250
	ニ 車 両 運 搬 具	51,941	
	減 価 償 却 累 計 額	0	51,941
	ホ 建 設 仮 勘 定	12,706,349	
	有形固定資産合計		11,522,516,000
	(2) 無 形 固 定 資 産		
	イ 施 設 利 用 権	2,180,256,601	
	無形固定資産合計		2,180,256,601
	(3) 投 資 そ の 他 資 産		
	イ 出 資 金	1,000,000	
	投資その他資産合計		1,000,000
	固 定 資 産 合 計		13,703,772,601
2	流 動 資 産		
	(1) 現 金 預 金		79,145,257
	(2) 未 収 金	54,596,066	
	未 収 貸 倒 引 当 金	△ 7,700,399	46,895,667

- 295 -

5 繰 延 収 益		
(1) 長 期 前 受 金	4,808,923,657	
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 274,307,345	
繰 延 収 益 合 計		4,534,616,312
負 債 合 計		9,246,709,451
6 資 本 金		
(1) 資 本 金		
イ 固 有 資 本 金	4,555,809,663	
資 本 金 合 計		4,555,809,663
7 剰 余 金		
(1) 利 益 剰 余 金		
イ 建 設 改 良 積 立 金	0	
ロ 減 債 積 立 金	0	
ハ 利 益 積 立 金	0	
ニ 当年度未処分利益剰余金	27,294,411	
利 益 剰 余 金 合 計	27,294,411	
剰 余 金 合 計		27,294,411
資 本 合 計		4,583,104,074
負 債 資 本 合 計		13,829,813,525

注記事項

1 重要な会計方針

令和2年度より、地方公営企業法の財務規定等を適用し、財務諸表等を作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア有形固定資産

減価償却の方法	定額法による
---------	--------

主な耐用年数

構築物	50年
-----	-----

機械及び装置	10年～20年
--------	---------

車両運搬具	4年
-------	----

イ無形固定資産

減価償却の方法	定額法による
---------	--------

主な耐用年数

施設利用権	50年
-------	-----

(2) 引当金の計上方法

ア退職給付引当金

簡便法(当該事業年度の末日において下水道事業の全職員(同日における退職者を除く。)が自己の都合により退職するものと仮定した場合に支給すべき退職手当の総額による方法をいう。)によるものとする。

イ賞与引当金

事業年度末に在籍する職員に対して支給が見込まれる期末手当、勤勉手当及びこれらの手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当該事業年度の負担に属する支給対象期間相当分を賞与引当金として計上する。

ウ貸倒引当金

過去3カ年の未収金及び当該未収金に係る不納欠損額の実績をもとに貸倒率(不納欠損額/未収金)を算定し、事業年度末未収金に貸倒率を乗じて算出したものを計上する。

2 予定貸借対照表等関連

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、81,634千円である。

(2) 引当金の取り崩し

ア退職給付引当金

令和3年度において、退職手当の要支給額は、退職給付引当金を使用する。

イ賞与引当金

令和3年度において、期末・勤勉手当の支給及びこれらの手当に係る法定福利費を支出するため、賞与引当金を使用する。

ウ貸倒引当金

令和3年度において、不納欠損による損失に充てるため、貸倒引当金を使用する。

3 セグメント情報の開示

(1) 報告セグメントの概要

富士吉田市下水道事業会計は、報告セグメントを単一としている。